

ノーリツ グループ子会社の施工業務・サービス受付業務を統合

～ 新エネルギーなど成長分野の体制強化の一環として ～

湯まわり設備メーカー(株)ノーリツ(本社：神戸市、取締役社長：國井総一郎、資本金：201億円、東ノ大証一部上場)は、2010年4月1日からグループ会社、(株)エヌティーエス(本社：東京都、取締役社長：常深忠雄)の工事部門を営業本部に統合します。2009年に事業参入した太陽光発電システムの施工体制強化と施工品質向上のため、ノーリツの営業部門との連携強化を図ります。

エヌティーエスは従来、住宅設備機器の施工・アフターサービス子会社として修理・故障相談の受付業務と給湯機器やシステム商品などの修理・施工を行ってきました。

弊社では2010年より太陽光発電システムの販売施工を対象エリアにてスタートしていますが、この新規事業に対応するため、従来エヌティーエスで行っていた施工業務をノーリツに統合し、営業部門と一体となった販売施工体制強化や業務のスピードアップと品質向上を図ります。また、従来からの給湯機器やシステム商品などの販売施工に関しても、お客さまにより高品質な施工をご提供するための体制強化を図ります。

一方、これまでエヌティーエスで行っていたアフターサービス事業のうち、修理・故障相談の受付業務をノーリツに統合し、お客さまからの受付窓口をノーリツで一貫して行います。また新エネルギー関連を含めた専門的な問い合わせへの対応を強化するため、サブユーザー専用の技術相談窓口を新設します。これによりお客さまへの対応のスピードアップや、両社で発生していた重複業務の解消を図るとともに、お客さまの利便性を向上させます。従来は製品についての問合せ窓口として「ノーリツコンタクトセンター」、修理・故障相談の受付窓口として「エヌティーエスコールセンター」の2つの窓口にて運営していました。

当社の国内事業は温水空調機器事業を核にして、厨房機器事業、住設システム機器、さらに周辺事業を一体運営するビジネスモデルにより成長させる戦略に基づいています。2011年度以降の成長に向けた仕掛けとして太陽光発電事業へ参入しましたが、今回の再編はこの取り組みへの体制強化の一環です。